

カクバラアリ *Recurvidris recurvispinosa* (Forel, 1890) の探餌活動

寺山 守

(〒339-0054 岩槻市仲町2-12-29)

TERAYAMA, Mamoru : On the foraging behavior of *Recurvidris recurvispinosa* (Forel, 1890).

カクバラアリ属 *Recurvidris* は、東洋区に8種のみが記録されている小さい属である (Bolton, 1992; Zhou, 2001). 本属に含まれる種は、いずれも黄色から黄褐色の体長3 mm以下の小形種で、かつ前伸腹節刺や腹柄節、後腹柄節、腹部等は特異な形態をしている。しかし本属では、興味深い特異な形態でありながらも、稀にしか採集されず、樹林内から林縁部にかけての土中や落葉土層に営巣する事以外の生態情報は全く知られていない。本属のレビューを書いた Bolton (1992) は、本属の生態について“mystery”と言う言葉まであてている。

日本では、南西諸島の石垣島と西表島からカクバラアリ *Recurvidris recurvispinosa* (Forel, 1890) が記録されている (寺山, 1999)。筆者は2000年5月3日に、西表島の仲間川流域で生物相調査を実施した際に、本種が樹上で探餌活動を行っている光景を観察することができた。探餌活動は昼間に、4本の常緑広葉樹の枝および葉上で見られ、いずれの木にも複数の働きアリが見られた。さらに、地上からの高さ約1.5mの葉上で、小形の鱗翅目幼虫の死骸から体液を摂取する働きアリ個体も観察された。

以上の観察から、カクバラアリは落葉土層から樹上部にかけて探餌活動を行うものと推定される。

参 考 文 献

- Bolton, B. 1992. A review of the ant genus *Recurvidris* (HYM.: FORMICIDAE), a new name for *Trigonogaster* Forel. *Psyche*, 99 : 35-48.
- Forel, A. 1890. *Aenictus-Typhlatta* découverte de M. Wroughton. Nouveaux genres de formicides. *Ann. Soc. Ent. Belg.*, 34 : cii-cxiv. [Translated in *Jour. Bombay Nat. Hist. Soc.*, 5 : 388-397 (1890) by R. C. Wroughton.]
- 寺山 守. 1999. アリ科. 山根正気・幾留秀一・寺山 守共著, 琉球列島産有剣ハチ・アリ類検索図説. 北大図書刊行会, 138-317.
- Zhou, S. 2001. *Ants of Guangxi*. Guangxi Normal University Press, China, 255pp.